



2つの新しい試験が始まります

共生社会の実現に向けて

～心を育てるホスピタリティの実践～

わたしたち、日本ホスピタリティ検定協会は、2015年11月の設立以来、日常生活やビジネスシーンにおいて重要な「人と人とのつながり」の根本である「心の教育」に注目し、「人間力の向上」や「ホスピタリティの実践」を広く社会全体で取り組めるよう、検定試験・研修等のコンテンツを金融、サービス、観光、医療、介護、大学、専門学校、高等学校など、多くの業界、業種の方々に提供してまいりました。

わが国における高齢化の進展や社会のサービス化の流れ、さらには近時の新型コロナウイルス感染拡大の影響は、「人と人とのつながり」に変化を与えるとともに、その重要性を再認識させることとなりました。また、企業においては、テレワークやWEB会議・面談、日常生活においては、マスクの着用、ソーシャルディスタンス、オンライン授業といった、今までの対面中心から非対面中心の生活様式への変化が求められるとともに、コミュニケーションの機会や手段にも新しい課題が投げかけられています。

弊会では、そのような古く新しい課題の解決に

とって必要な考え方として、相手の立場に立って、心から相手のことを考えて行動するホスピタリティの実践を中心に啓発活動・情報発信を続けていくこと、ひいてはその活動が、多様性を活かし、人と人が支え合う社会(共生社会)を実現するため、そしてSDGs達成の一助となればと考えています。

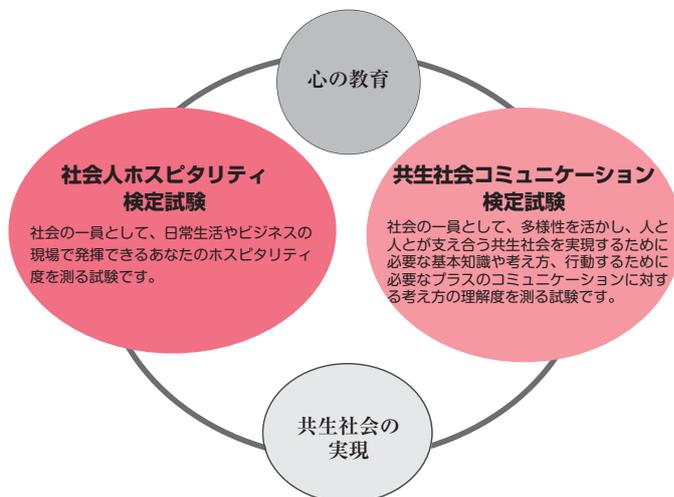
さて、弊会は、これまで一般社団法人ホスピタリティ機構と業務を連携し、「ホスピタリティ2級・3級」試験を実施してまいりましたが、2021年3月31日をもって同機構との関係を解消いたしました。

これにより、従来から実施しております「ホスピタリティ2級・3級」試験は同機構が引き継ぎ、弊会では、2021年6月より、ホスピタリティに関する新たな試験として、広く社会人の方々を対象とした「社会人ホスピタリティ検定試験」を実施しております。

また、本年10月よりは、国や世界基準として機運が高まっている共生社会の実現に役立つ「共生社会コミュニケーション検定試験」も実施していきます。

これからも、活動内容の充実をはかってまいりますので、今後とも弊会へご支援、試験のご活用をお願い申し上げます。

2つの検定試験の共通点は、「心の教育」



2つの試験は、どちらが先とか、どちらが重要なのかという関係ではありません。

みなさんの興味や目的によって選んでいただければ結構です。

どちらの試験を選んだとしても、本テーマに興味を持ったことは、みなさんが「こころ」という「人と人とのつながり」にとって最も大切なことに気づいたことになります。

その気づきはさらなる興味につながり、より深く学び、それぞれの必要性を理解するきっかけとなるはずです。

さあ、日常生活・ビジネスでホスピタリティを発揮しましょう！

そして、共生社会の実現のため、一歩踏み出しましょう！

新しい検定試験のご案内

社会人ホスピタリティ検定試験

社会人ホスピタリティ [基本]

社会人にとって必要なホスピタリティ・マインドとは何か、マナーやコミュニケーションで求められるホスピタリティの姿勢とはどのようなものかなど、「相手の力になりたい」というホスピタリティの考え方・気づきについて、その基本的な理解の習得程度を測定します。

試験方式	全国一斉試験※1・CBT方式※2・団体特別試験※3
受験資格	資格制限はありません。どなたでも受験できます。
実施日程	【10月、3月午前実施(年2回)】 2021年10月24日(日) 10:00~11:30 (受付期間:2021年8月19日(木)~9月8日(水) [必着]) 2022年3月6日(日) 10:00~11:30 (受付期間:2022年1月6日(木)~1月19日(水) [必着]) ※CBT方式は、2021年6月1日より随時実施
試験時間	90分
受験料	4,400円(税込)
出題形式	三択一式 50問(各2点)
合格基準	100点満点中70点以上
出題範囲	ホスピタリティの基本知識と重要性 ホスピタリティ力の向上と対応 ・ビジネスにおけるホスピタリティのポイント ・ホスピタリティ・マナーのポイント ・ホスピタリティ・コミュニケーションのポイント ・さまざまな相手に対するホスピタリティのポイント ※出題範囲・内容に一部変更が生じることがあります。

社会人ホスピタリティ [実践]

ホスピタリティ・マインドの発揮により、ビジネスシーンなどで、いかに相手や自分自身の感情を理解し、具体的な行動につなげるのか、いかに状況を把握し、問題解決をするのかなど、「社会人ホスピタリティ [基本]」の上級試験として、その実践力・応用力の習得程度を測定します。

試験方式	全国一斉試験※1・CBT方式※2・団体特別試験※3
受験資格	資格制限はありません。どなたでも受験できます。
実施日程	【10月、3月午後実施(年2回)】 2021年10月24日(日) 13:30~15:30 (受付期間:2021年8月19日(木)~9月8日(水) [必着]) 2022年3月6日(日) 13:30~15:30 (受付期間:2022年1月6日(木)~1月19日(水) [必着]) ※CBT方式は、2021年6月1日より随時実施
試験時間	120分
受験料	6,600円(税込)
出題形式	四択一式 50問(各2点)
合格基準	100点満点中70点以上
出題範囲	ホスピタリティの発揮と重要性 ホスピタリティの実践的活用と応用 ・ビジネスにおけるホスピタリティの実践 ・ホスピタリティ・マナーの実践 ・ホスピタリティ・コミュニケーションの実践 ・さまざまな相手に対するホスピタリティの実践 ※出題範囲・内容に一部変更が生じることがあります。

共生社会コミュニケーション検定試験

共生社会コミュニケーション検定試験

社会の一員として、多様性を活かし、人と人が支え合う共生社会を実現するために必要な基本知識や考え方、行動するために必要なプラスのコミュニケーションに対する考え方の理解度を測定し、共生社会の一員となる意識を高めることを目的とした試験です。

試験方式	CBT方式※2・団体特別試験※3
受験資格	資格制限はありません。どなたでも受験できます。
実施日程	2021年10月20日より随時実施
試験時間	60分
受験料	4,950円(税込)
出題形式	三択一式 50問(各2点)
合格基準	100点満点中70点以上
出題範囲	1. 共生社会とコミュニケーション ・共生社会におけるコミュニケーション ・共生社会の一員になるために 2. 障害を知る ・障害とは(定義・概要等) 3. 当事者の声と対応のヒント ・よかったこと調査 ・アクセシブルミーティング(みんなの会議) 4. 共生社会の教養 ・共生社会の教養とは(2つのコミュニケーション) 5. 支援ツール ・共生社会の実現を支援するツール ※出題範囲・内容に一部変更が生じることがあります。

※1〈全国一斉試験〉 全国の実施会場にて、同一日時にてペーパーベースにて一斉に実施する試験方式のことで。

※2〈CBT方式〉 PC設置会場(テストセンター)にて、コンピュータを利用して実施する試験方式のことで。

都合の良い試験日時・会場を選択して受験することができます。

※3〈団体特別試験〉 団体様のご希望の場所・日時で実施できるペーパーベースの試験です。

上記検定試験のお問い合わせ、お申込みについては、以下ホームページをご参照または、日本ホスピタリティ検定協会 事務局までご連絡ください。

日本ホスピタリティ検定協会 <http://japan-hospitality.jp/> 試験事務局 (TEL 03 - 3267 - 4817)